

群馬県立文書館 教材活用史料詳細カード 36

請求番号	P8601	文書番号	1089・ 1090	年代	昭和19年7月(1089) 昭和18年12月(1090)
史料名	焼付版読売ニュース 1089「南雲最高指揮官以下全員戦死の悲痛なる発表に眦を決して起こった中島飛行場。 いまこそ全国の生産陣に玉砕突撃の喚声は轟く」 1090「これは群馬県北甘楽郡高瀬村国民校の生徒達である。彼らは汗を流して24俵の お米を作りいまそれを供出のため管理米倉庫へ急ぐ」				
形態	写真 (約15×10cm)	複製	あり・なし		
備考	寄託の古文書(大戸文治郎家文書) ※同資料(写真)は全部で178枚ある				
史料概要	読売新聞社の刊行物で、一緒に残っている封筒には「月十六枚発行」と印刷されている。 当館には昭和18年6月から昭和20年1月のものが178枚ある。日中戦争・太平洋戦争関係のモノクロ写真と短い解説文で構成されており、当時の様子や戦時下の報道のあり方について知ることができる。 No.1089には、日の丸が塗装された戦闘機が大きく写っており、本県で生まれた中島飛行機株式会社(現・株式会社SUBARU(スバル))と戦争の関係が一目でわかる。解説文中の「南雲最高指揮官」とは昭和19年7月にサイパンで自決した南雲忠一と考えられる。 No.1090では本県の小学校(現・富岡市立高瀬小学校)の小学生が、自分達で作った米を供出のために運んでいる。木造の校舎らしき建物を背景として、木製の車には大きな日本国旗が立てられている。県内の小学生も労働により戦争に動員させられていた様子を見て取ることができる。				
指導要領(内容)との関連	<小6> (2)-ア-(サ) 第二次世界大戦、(2)-イ-(ア) 世の中の様子 <中歴> C-(1)-ア-(カ) 第二次世界大戦、C-(1)-イ-(ア) 戦時期の生活の変化 <高歴総> C-(3)-イ-(イ) 第二次世界大戦下の社会状況や生活				
活 用 例					
活用単元	アジア・太平洋戦争 戦時中の生活について				
活用場面	・戦時の様子がわかる群馬県関連の写真史料として、導入、及び探求する場面での活用。				
活用方法	・デジタルデータを活用してプリントや掲示することが出来るほか、調べ学習の史料として提示することができる。また、教室や廊下に展示し、いつでも自由に見ること出来るようにすることで、意欲関心を高めることができる。と考える。				
予想される生徒児童の反応など	・県内の小学生に至るまで全国民が戦争に動員させられていた様子や、戦況が極度に悪化している中、国策への参加を強制させていた当時の全体主義の様子を見ることで、日本社会のあり方、政府による報道統制の危険性、平和の尊さを学ぶことができる。				

(P8601 1089) 昭和 19 年



(P8601 1090) 昭和 18 年

